

PLIF(後方侵入椎体間固定術)

腰椎(腰の骨)の一部を後ろから切除して脊髄神経が通る管(脊柱管)を広げ、腰椎間にある椎間板を取り除き、そこに切除した骨をはめ込み、スクリューで腰椎を固定する手術です。

小皮切(3横指でいどの小さな傷)で1時間半～2時間という通常の手術(3～4時間)より短時間のため、出血量も少ないので輸血の必要が無く感染のリスクが低い手術を行っています。手術翌日からリハビリを行い、10～14日の入院期間で家庭復帰が可能となります。

